事業仕分け

公開の場で、第三者の視点から公平・客観的な評価をすることで、事業の目的・本質を明確化し、市民への説明責任の徹底と職員の意識改革の推進を図る「事業仕分け」を10月22日にあじさい館で実施しました。

問企画課

➡目的を明確になどとの仕分け人との議論がなされました。

熱心に16事業を論議

―災害対策は現行通り　拡充も視野に―

今回対象となった事業は、市の392事業のうち、客観的な抽出基準により幾重にもふるいをかけて絞り込んだ16事業です▼政策調査研究機関「構想日本」のメンバーと市の審議会委員などを務める市民を「仕分け人」とし、無作為抽出の市民（20歳以上）による「市民判定員」と合わせて、2班体制で事業の必要性や効率的な実施方法を論議しました▼1事業当たり40分程度を目安として事業シートに基づき市職員が事業の概要などを説明し、仕分け人との質疑応答や議論を行い、仕分け人と市民判定人が、事業について、「不要」「再検討・見送り」「国・県・広域で実施すべき」「市で行うが改善すべき」「市で現行どおり実施すべき」など5段階で判定をしました▼長寿をたたえる事業については、「高齢者に祝い金を配る手段ではなく感謝の気持ちを表す事業を考える時期になってきたのではないか」などと仕分け人が「不要」、市民判定員が「要改善」の判定をしました▼対象事業16事業の結果は、市民判定員は不要1、要改善13、現行通り2、再検討・見送り1▼仕分け人は不要3、要改善6、現行通り2、再検討・見送り6▼市民判定員、仕分け人とも「不要」と判定した事業は、恋瀬橋ロードパーク管理運営事業のみでした。

⬆事業の目的や経費の使われ方を真剣に聞き取る市民判定員

⬆事業概要説明を熱心に聞く市民判定員

市民判定員の声

▼今までの生活からは見えない部分が見え、市役所の仕事を身近に感じることができました▼仕分け対象事業をもう少し精査する必要があると思います▼主婦にもわかる資料や説明がほしかったと思います▼かすみがうら市に住んでよかった思える事業をお願いします▼どの事業も私たちの生活に関わる大切な仕事です▼「昔からやってきた仕事」ではなく、「今の時代に見合う仕事」をしてください▼「1円でも大切に」の気持ちで仕事に取り組んでほしいと感じます▼仕分けの結果を踏まえて今後のかすみがうら行政に期待していますなど

事業仕分け結果一覧

班	事業番号	事業名	市民判定員　仕分け結果						仕分け人　仕分け結果					
			行政の関与不要			行政の関与必要		判定結果	行政の関与不要			行政の関与必要		判定結果
			不要	再検討・見送り	国・県・広域	市（要改善）	市（現行通り）		不要	再検討・見送り	国・県・広域	市（要改善）	市（現行通り）	
第1会場（第一班）	①	障害者福祉活動推進事業	0	3	1	8	2	要改善	0	4	0	2	0	再検討・見送り
	②	畜産振興事業	0	1	3	7	3	要改善	0	2	0	4	0	要改善
	③	長寿をたたえる事業	2	4	1	6	1	要改善	2+1	2	0	2	0	不要
	④	リサイクル推進事業	2	1	2	9	0	要改善	1	4	0	1	0	再検討・見送り
	⑤	下水道維持事業	0	0	0	5	9	現行通り	0	0	0	4	2	要改善
	⑥	青少年育成事業	0	3	1	7	3	要改善	0	0	0	6	0	要改善
	⑦	道路維持管理事業	0	1	0	4	9	現行通り	0	0	0	1	5	現行通り
	⑧	公民館活動推進事業	0	4	0	9	1	要改善	0	0	1	5	0	要改善
第2会場（第二班）	①	観光PR推進事業（「食」推進事業）	3	3	1	6	0	要改善	3	2	0	1	0	不要
		観光PR事業（観光PR事業）	1	2	1	9	0	要改善	0	3+1	0	3	0	再検討・見送り
	②	放課後児童健全育成事業	0	0	1	8	4	要改善	0	2	1	3	0	要改善
	③	恋瀬橋ロードパーク管理運営事業	11	2	0	0	0	不要	5	1	0	0	0	不要
	④	任意予防接種事業	0	0	2	9	2	要改善	0	4	0	2	0	再検討・見送り
	⑤	医療福祉事業（市単独事業）	1	1	1	8	2	要改善	0	3+1	0	3	0	再検討・見送り
	⑥	災害対策事業	0	0	0	4	9	現行通り	0	0	0	2	4	現行通り
	⑦	中学生海外派遣事業	5	5+1	0	3	0	再検討・見送り	0	3+1	0	3	0	再検討・見送り
	⑧	消防水利整備事業	0	0	2	8	3	要改善	0	0	0	5	1	要改善

☞仕分け人と市民判定員の結果を併記しています。

☞仕分け人について、多数決が同数となった場合は、コーディネーターによる採決を行いました。行政の関与不要と必要の間で票数が同数になった場合、それぞれの項目にある票数を足し合わせ、数の多い方を優先させています。

例不要2、再検討1、要改善2の場合：不要と要改善が同数だが、行政の関与不要と必要で比較した場合、行政の関与不要は3、必要は2となるので、行政の関与不要が優先され、この場合「不要」が優先されます。

☞市民判定員について、多数決が同数となった場合は仕分け人の判定結果を一票加えます。ただし、仕分け人の判定結果が、市民判定員の多数決の同数と違った場合は、市民判定員の多数決を同数と併記しています。